
「乳房手術前写真内の臍領域画像を用いた成人女性における臍形態の審美的検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの情報を用いた以下の研究を実施いたします。
本研究は、埼玉医科大学総合医療センター研究倫理委員会の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2001年1月1日～2023年11月29日までに、埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科にて、乳房手術前（乳房再建、性同一性障害の乳房切除、乳房良性腫瘍など）の、臍が含まれる立位写真を撮影された18歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

本研究では、一定数の臍写真による形態評価を行い、本邦の成人女性の標準的な臍形態、さらにアンケート調査にて好ましいとされる臍形態を評価します。さらに、臍の縦横比率や深さ、BMIや年齢など臍形態の好ましさに影響する要素も解析します。本研究結果により、臍形成術時に参考となる成人女性の臍形態に関する基礎データを構築することを目的とします。

3. 研究期間

病院長の許可後～2027年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2024年4月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

年齢、身長、体重、画像・写真データ、現病歴、既往歴など。

※この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学総合医療センターにおいて、研究責任者である加賀谷優が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

診療記録および保存写真データから取得します。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 助教 酒井 麻未（研究責任者）
埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 教授 大西 文夫
埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 助教 鈴木 愛弓
埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 非常勤講師 加賀谷 優

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学総合医療センター病院長 別宮 好文

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 酒井 麻未

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981

電話：043-228-3639（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：乳房手術前写真内の臍領域画像を用いた成人女性における臍形態の審美的検討

○研究責任者：埼玉医科大学総合医療センター形成外科・美容外科 酒井 麻未